

平成19年2月7日

エイズ動向委員会の結果報告について

1 本日の委員会では、平成18年10月2日より平成18年12月31日までの感染症法に基づく患者・感染者報告並びに平成18年10月1日から平成18年12月31日までの任意報告を解析した。

2 平成18年10月2日より平成18年12月31日までの間に感染症法に基づき報告された新規エイズ患者数は85件、新規HIV感染者数は235件であった。

患者85件、感染者235件の内訳は、

感染原因別では、異性間の性的接触による患者26件、感染者56件、同性間の性的接触による患者44件、感染者154件、静注薬物濫用による患者1件、その他の原因による患者2件、感染者8件、原因不明の患者12件、感染者17件であった。

性別では男性患者78件、感染者212件、女性患者7件、感染者23件であった。

年齢区分別では、患者は20代9件、30代31件、40代10件、50歳以上35件、感染者は10代5件、20代61件、30代91件、40代46件、50歳以上32件であった。

国籍別では日本人患者77件、感染者213件、外国人患者8件、感染者22件であった。

感染地域別では、国内で感染した患者67件、感染者207件、海外で感染した患者8件、感染者16件、感染地域不明患者10件、感染者12件であった。

3 患者85件、感染者235件のうち

異性間の性的接触による患者26件、感染者56件のうち日本人男性は、患者21件、感染者35件、日本人女性は、患者3件、感染者12件であった。

また、外国人男性は、感染者3件、外国人女性は、患者2件、感染者6件であった。同性間の性的接触による患者44件、感染者154件のうち日本人男性は、患者42件、感染者147件であった。

また、外国人男性は、患者2件、感染者7件であった。

日本人男性患者73件のうち20代6件、30代28件、40代8件、50歳以上31件、日本人男性感染者200件のうち、10代5件、20代45件、30代80件、40代44件、50歳以上26件であった。

また、日本人女性患者4件のうち30代1件、50歳以上3件、日本人女性感染者13件のうち、20代5件、30代5件、50歳以上3件であった。

外国人男性患者5件のうち、20代1件、30代2件、40代1件、50歳以上1件、外国人男性感染者12件のうち、20代6件、30代2件、40代2件、50歳以上2件であった。

また、外国人女性患者3件のうち、20代2件、40代1件、外国人女性感染者10件のうち、20代5件、30代4件、50歳以上1件であった。

国内感染による患者67件のうち日本人男性が61件、日本人女性が3名、外国人男性が3件であった。

また、国内感染による感染者207件のうち日本人男性が187件、日本人女性が11件、外国人男性が6件、外国人女性が3件であった。

海外感染による患者8件のうち日本人男性が4件、外国人男性が2件、外国人女性2件であった。

また、海外感染による感染者16件のうち日本人男性が9件、日本人女性が1件、外国人男性が2件、外国人女性が4件であった。

4 任意報告により

キャリア等からエイズ患者になったとの報告は1件であった。

患者・感染者の死亡は、AIDSが原因の1件、それ以外の3件であった。

5 平成18年1月から12月末までの保健所等におけるHIV抗体検査件数は93,497件、うち自治体を実施する保健所以外の検査件数は23,053件、保健所における相談件数は173,651件であった。

6 平成18年1月から12月末日までの献血件数4,987,857件(速報値)のうち、HIV陽性件数は87件であった。